

## 制御ケーブルのデジタル管理

Digital Management Tool of Control Cables for Substation

電気所内の制御ケーブル関連情報のデジタル化により作業効率、業務品質を高める

### 1. デジタルツイン化

電気所では、電力機器や制御盤などを接続する制御ケーブルの接続状態はケーブル接続図として紙管理されていることが多い。そのため、紙と実態の不一致等で不都合が生じているが、デジタル化で矛盾状態も明確にしてデータ品質を上げると共に、様々な切り口から制御ケーブルの実態確認を行うことができる

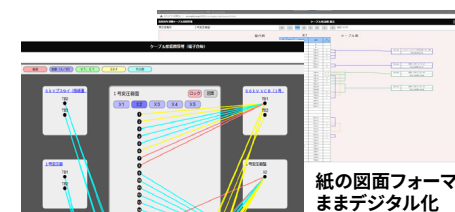
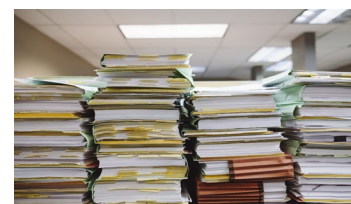
### 2. デジタル情報の業務への活用

特定ケーブルに着目した盤間接続状態を、ケーブルの切離し接続の作業手順書に利用するなど、業務における資料作成に活用できる

### 3. 初期データ整備の効率化

電気所毎に差がある紙の接続図情報をデジタル化する初期データ整備が、DX推進のネックになるケースが多い。単純作業部分の切り出しと、データ整合性チェック機能の充実により、効率化を目指している

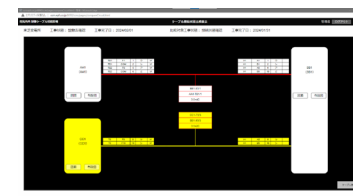
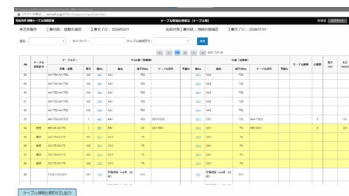
#### 1. デジタルツイン化



紙の図面フォーマットのままデジタル化

「使用用途」毎に盤間接続状態表示

#### 2. デジタル情報の業務への活用



特定ケーブルに着目した盤間状態表示

#### 3. 初期データ整備の効率化

